



「英語に自信がない」  
「子どもは英語の授業を楽しんでいるのに、英語力がないから、子どもが言いたい表現が教えられない」  
「自信がないからあまり英語を使っていない」  
「発音に不安がある」

♪はじめよう～やってみよう

～誰でも最初は初心者なんだから♪

### 5/8 Let's start "Small Talk Notebook".

Small Talk の台本を書いたり記録したりするノートを開始。しかし、「どう言えば・・・」「英語が・・・」「カタカナでも・・・」といった不安から尻込み。

5/24 に喝！

「覚えているうちに書こう！」

(記入が後回しになると記憶が薄れて NG)



### They always support us!



Small Talk ノートは常に職員室机の上に置き、誰もがみられるように。英語の訂正や付け足し、コメントの付箋で常に

叱咤激励、叱咤激励、激励！

### 7/10 Naoyama sensei's Advice

「新しい表現を与えるのがよいのではない。子どもが知っている表現にどう置き換えるかが大事。先生は子どもに具体を言わせ、それを既習表現にくだいて話す力をつけることが大事」 単語を多く知っていることが Small Talk をやる上での強みと思っていたが、意識改革。

Let's paraphrase!



### Teacher's English Shower

週1回、ALT と担当がテーマを決めて進めるミニ研修も今年で4年目。教職員皆で和気あいあい、会話がはずみすぎて延長戦になることも。

### This is my turn!

Small Talk 研修は輪番。台本を書き、当日に向けて何度も練習するも皆の前で緊張。回を重ねるうち、だんだん慣れてきた。困りや疑問を共有して自分のものにしていこう。次は授業で使えるように。

### 6/21 Mr. Ferguson's Workshop

低学年でも Small Talk は難しくない。

絵本の読み聞かせにヒントあり。

絵本をどう読む？ どう使う？

ただ読むだけではもったいない。

めざすは

Always Listening

Always Speaking

Always Thinking



### Go Go English 作戦変更

「子どもが言いたいと思って話しているか」「聞きたいと思って聞いているか」「必然性がなければ子どもは楽しいと思わない」「場面を与えずトレーニングしても意味がない」ことから、全校統一テーマをやめ、子どもをよく知る担当がテーマ設定し進めることに軌道修正。

### From October 「教えて、先生！」

「国語で敬語を習ったけど、英語にも敬語はあるのですか？」

「なぜ英語がすきになったの？」

「アメリカの人気アニメは何ですか？」

ALT や中学校英語科担当教員が手紙で子ども「なぜ」「知りたい」に答えます。

### Teacher's Change (May VS Dec.)

非言語コミュニケーションの豊かさは朱二の強み。英語使用量約2割増。(33→55%) 特に授業を進めるための表現やデモンストレーションでの使用に伸び。一方、「児童の発話を引き出す」「理解や気付きを促す」英語使用が「ほとんど」「全くできていない」割合は減ったものの(46→20%) まだ苦手意識あり。

「ほめ言葉のバリエーションが少し増えた」「クラスルームイングリッシュは使えるようになってきたが、とっさに出てくることはまだ少ない」「使う言葉を決めてから授業に取り組むようにしたら使える表現が増えた」



1年目の研究を振り返り、子どもが、本当に伝えたいことを伝え合うために対話を続ける Small Talk を目指して

2年目へGO!

### Children's Change (July VS Nov.)

「英語が分からなくても推測して考える」と答えた子どもは全学年8割超。既習表現を使って対話を続けようという気持ちはあるがスキル面での伸びはこれから！

(31.0→50.9%)

「もっと話せるようになって説明も英語で言いたい」「前から使いたかった Me, too. を今日は使えてよかった」